

■ 掲示板

■ 大阪大学産業科学研究所 教授公募

1. 募集人員：教授 1 名
2. 担当分野：第 2 研究部門（材料・ビーム科学系）量子ビーム物質科学研究分野
3. 分野内容：20 世紀の科学技術発展の基礎となったビーム科学は、大阪大学産業科学研究所においては、コバルト 60 を用いた放射線科学の研究から高性能電子加速器を利用した量子ビーム科学へと発展してきました。今後 21 世紀における新しい科学技術の発展や、人類が直面する諸問題の解決に大きく寄与するものと期待されています。

量子ビーム物質科学研究分野では、環境・エネルギー・医療等に関する諸問題の解決を目指して量子ビーム科学的手法に立脚した物質科学の研究を行います。産業科学研究所の量子ビーム科学研究施設との連携が望まれます。

本研究分野は、教授 1 名、准教授 1 名、助教 2 名により構成され、工学研究科・応用化学専攻・物質機能化学コースの協力講座です。

4. 応募資格：博士の学位を持つ人。
5. 着任時期：決定後、なるべく早い時期
6. 応募書類：
 - (1) 履歴書（写真添付のこと）
 - (2) ① 研究業績リスト（論文題目と全著者名を含めて記載し、本人氏名に下線を付す。業績リストは、原著論文、国際会議論文、解説・総説、著書、特許、その他に分類して作成する。② 受賞および招待講演のリスト（複数名による受賞の場合は受賞者全員の氏名を記載）、③ 競争的外部資金の獲得状況（代表者である場合のみ、期間、総額を含む）、④ その他特記事項。
 - (3) 主要論文 20 編のリスト（掲載されたジャーナルのインパクトファクターおよび被引用回数を付す）と、原著論文の総被引用回数
 - (4) 主要 5 論文の別刷り又はコピー
 - (5) 現在までの研究概要（2000 字以内、主要 5 論文を引用）
 - (6) 研究・教育・連携計画および抱負（2000 字以内）
 - (7) 本人について意見を聞くことの出来る方 2 名の氏名と連絡先
7. 締め切り：2010 年 8 月 31 日（火）必着
8. 書類送付・問合せ先：磯山悟朗
〒567-0047 大阪府茨木市美穂ケ丘 8-1
大阪大学産業科学研究所
TEL 06-6879-8485, FAX 06-6879-8489
E-mail : isoyama@sanken.osaka-u.ac.jp
応募書類は A4 版で作成し PDF ファイルに変換したものを CD に焼付け、封筒に「教授応募書類在中」と朱記し、紙原本 1 組と共に簡易書留で郵送して下さい。

■ 大阪府立大学「地域の大学からナノ科学・材料人材育成拠点」プログラム/テニュア・トラック教員（第四期）公募

1. 公募人員：特別講師（テニュア・トラック講師） 2 名
2. 所属部門：大阪府立大学 21 世紀科学研究機構 ナノ科学・材料研究センター
3. 専門分野：ナノ科学、ナノ材料に関わる幅広い研究分野から最先端研究に関する応募を想定。実験研究、理論研究は不問。
4. 着任時期：2011 年 4 月 1 日
5. 任期：5 年（最終審査で適格と認められた場合は専任の准教授または教授へ昇任が可能）
6. 応募資格：2011 年 4 月 1 日時点で、博士の学位を有し、大学における助教、博士研究員、あるいは同等職歴の経歴を 3 年以上有し、学位取得後 10 年以内の者。
7. 提出書類：○履歴書○研究業績リスト○これまでの研究概要○今後の研究計画 など。○推薦書または意見書 5 通は推薦者から直送のこと。様式は不問ですが、すべて英語で作成のこと。詳細は以下 10. URL を参照。
8. 公募締切：2010 年 9 月 29 日（水）
9. ① 書類提出方法：Word または PDF 形式で作成した応募資料を提出期限までに、本プログラムのホームページ <http://www.nanosq.21c.osakafu-u.ac.jp/> の電子応募欄より提出するとともに、資料原本を、「〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町 1 番 1 号 公立大学法人 大阪府立大学 総務部人事課」宛に書留で郵送。詳細は下記 10 の URL を参照のこと。
- ② 問合せ先：下記 10. URL の公募問合せ欄
- ③ 事務連絡先：大阪府立大学 総務部人事課
e-mail : jinji2011@21c.osakafu-u.ac.jp
10. 本プログラムの URL :
<http://www.nanosq.21c.osakafu-u.ac.jp/>

■ 電気通信大学（SPRING-8 拠点）特任助教の公募

- 公募人数：特任助教 2 名
勤務場所：SPRING-8（電気通信大学 SPRING-8 拠点）
専門分野：JASRI/SPRING-8 の協力の下、電通大（宇留賀 特任教授、岩澤教授）、分子研（唯 准教授）、北大（朝倉教授）と連携し、世界最先端の XAFS ビームライン建設（承認後）を進められる方。また、燃料電池ナノ粒子触媒の in situ 時間空間深さ分解 XAFS 計測・解析を行う。意欲がある方なら燃料電池研究や XAFS の経験は問いません。
任 期：最長 5 年（NEDO プログラム終了：2015 年 3 月まで）
応募資格：
 - (1) 博士の学位を有すること、或いは取得見込みの方
 - (2) 放射光ビームライン建設に経験のある方、或いは建設に興味と意欲のある方
 - (3) または放射光 XAFS の経験のある方、或いは興味と意欲のある方

る方

応募締切：2010年9月30日まで（ただし、適任者が見つかり次第、締め切ります）

着任時期：2010年8月1日以降できるだけ早い時期

提出書類：

- (1)履歴書（研究歴を含む、書式自由、写真添付）
 - (2)業績リスト（論文・学会口頭発表・その他）
 - (3)主要論文のコピー（3編以内、PDFファイル）
 - (4)これまでの研究成果と今後の抱負（A4一枚程度）
 - (5)応募者について照会が可能な方2名の氏名および連絡先
- (1)～(5)を下記 E-mail アドレスへメールにて提出ください。

選考方法：書類選考および面接

書類送付先・問合せ先①：

岩澤康裕

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

電気通信大学大学院情報理工学研究科先進理工学専攻

TEL：042-443-5921

E-mail：iwasawa@pc.uec.ac.jp

<http://www.iwasawalab.pc.uec.ac.jp/>

問合せ先②：

宇留賀朋哉

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

勲高輝度光科学研究センター・利用研究促進部門

Tel：0791-58-0803-tone-3836

E-mail：urugat@spring8.or.jp

<http://www.spring8.or.jp>

■東京大学物性研究所教員公募

下記により助教の公募をいたします。適任者の推薦、希望者の応募をお願いいたします。

1. 研究部門名等および公募人員数：

国際超強磁場科学研究施設（嶽山研究室） 助教 1名

2. 研究内容：本研究室では、破壊型パルス超強磁場をもちいた物性研究を行っている。本公募では、電磁濃縮法を用いた1000テスラ磁場発生手法の開発とこれを用いた様々な物性研究を通じて、強磁場科学の発展に資する人材を募集する。体力と精神力に優れ、大学院学生の指導および研究室の運営も積極的に行う意欲のある若手研究者を希望する、必ずしもこの分野の経験を問わない。

3. 応募資格：修士課程修了、またはこれと同等以上の能力を持つ方。

4. 任期：任期5年、再任可。ただし、1回を限度とする。

5. 公募締切：平成22年10月8日（金）必着

6. 着任時期：決定後なるべく早い時期

7. 提出書類：

(イ) 推薦の場合

○推薦書

○履歴書（略歴で可）

○業績リスト（特に重要な論文に○印をつけること）

○主要論文の別刷（3編程度、コピー可）

○研究業績の概要（2000字程度）

○研究計画書（2000字程度）

(ロ) 応募の場合

○履歴書（略歴で可）

○業績リスト（特に重要な論文に○印をつけること）

○主要論文の別刷（3編程度、コピー可）

○所属長・指導教員等による応募者本人についての意見書（作成者から書類提出先へ直送）

○研究業績の概要（2000字程度）

○研究計画書（2000字程度）

8. 書類提出先：

〒277-8581 千葉県柏市柏の葉 5丁目1番5号

東京大学物性研究所総務係

電話 04-7136-3207 e-mail isspp-somu@kj.u-tokyo.ac.jp

9. 本件に関する問い合わせ先：

東京大学物性研究所附属国際超強磁場科学研究施設

教授 嶽山正二郎

電話 04-7136-5309 e-mail takeyama@isspp.u-tokyo.ac.jp

10. 注意事項：「国際超強磁場科学研究施設（嶽山研究室）助教応募書類在中」、または「意見書在中」の旨を朱書き、郵送の場合は書留とすること。

11. 選考方法：東京大学物性研究所教授会にて審査決定いたします。ただし、適任者のない場合は、決定を保留いたします。

12. その他：お送りいただいた応募書類等は返却いたしませんので、ご了解の上お申込み下さい。また、履歴書は本応募の用途に限り使用し、個人情報に正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。

■独立行政法人理化学研究所 播磨研究所 放射光科学総合研究センター 利用システム開発研究部門 基盤研究部 研究員または技師 募集

【研究室の概要】

基盤研究部は、SPring-8 利用技術の研究開発・高度化・汎用化をとおして研究基盤の運営と普及を担当しています。本研究室は、生命系放射光利用システム開発ユニット、物質系放射光利用システム開発ユニット、軟X線分光利用システム開発ユニット、放射光イメージング利用システム開発ユニットの4ユニット体制で全8本の理研ビームラインの運営・高度化に責任を持ち、幅広い科学分野での放射光利用研究に係わる諸技術の開発とレベルアップを進めています。

【募集職種、人数及び職務内容】

研究員または技師 1名（着任時期 平成23年4月1日、またはそれ以降早期）

SPring-8 の高輝度・短パルス放射光の特徴を活かし、物質の過渡的な現象を微視的に直接観察するためのX線分光、X線回折・散乱、X線イメージングなど、先端計測のための実験手法や実験装置の開発研究および理研ビームラインの高度化とその維持・利用支援業務

詳細は http://www.riken.jp/r-world/info/recruit/k101015_e_rsc.html を参照ください。

【待遇】

定年制職員（60歳定年）、年俸制（規程に基づき諸手当支給）その他、当研究所規程による。

【提出書類】

(1)履歴書(写真付), (2)研究業績一覧, (3)現職の所属長を含む推薦状2通(内, 最低1通は外国人からのものとする。宛名は, 「独立行政法人理化学研究所 理事長」) (4)これまでに獲得した外部資金リスト(5)これまでの研究・技術開発内容と今後の研究・技術開発に対する抱負(3ページ以内), 上記の書類を簡易書留または書留で送付し, 封筒に「基盤研究部 研究員または技師 応募書類在中」と朱書きしてください。

【締切日】平成22年10月15日(金) 17時 必着

【問合せ・書類送付先】

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1
独立行政法人理化学研究所
基礎基盤研究推進部 研究業務課
E-mail : rps-saiyo@riken.jp

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内

編集委員長 足立伸一
渉外幹事 水木純一郎

オンライン会誌にアクセスするには, 放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし, 会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr234

Password : nYm83ziK

です。このユーザー ID とパスワードは, 次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある, 学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ, オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また, 記事の著作権は日本放射光学会にありますので, 転載等のご希望に関しては, 必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で, 会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等御座いましたら, 水木 (mizuki.junichiro@jaea.go.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は, 足立 (shinichi.adachi@kek.jp) までお願いします。

一口メモ

サギソウ

ラン科サギソウ属の多年草で山野の湿地に自生する。茎の高さは約30 cm で, 葉は茎の基部に互生する。夏には白鷺が舞うような涼しげな姿が涼感を呼ぶ。家庭用として, 栽培することは可能で, 水やりはやや多めにし, 日当たりと通風を好むが, 乾燥させないようにする。また, 球根は毎年春先に植え替えるのが好ましい。

6月下旬, 大学院生時代の同級生・友人6名, 奥様4名と一緒に, 休暇村那須に集合して, 年上のKさんご夫妻を囲む会を開催しました。Kさんは私と異なる研究室に属していましたが, その人柄に魅せられて, いろいろな研究室の同級生が集まり, “学問の学ぶ方”と“人生の楽しみ方”についての多くを教えてくださいました。昨年と本年同級生4名が大学を去りましたので, 一人30分間の持ち時間で, 大学での最終講義の内容を発表し, 発表者とKさんとの間で楽しく質疑応答しました。大学卒業後の40年の歩みを30分ですべて語りつくすことは出来ませんでした。スライドの中には, 蔵王スキー場での写真も出てきて, 非常に懐かしく感じました。翌朝の解散後, 私と家内はコマクサの咲く茶臼岳周辺を散策し, 梅雨の合間の時間を過ごしました。
(No. 94, K. Ohshima)



■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2010年 8/5-7	日本 XAFS 研究会 夏の学校	関西セミナーハウス	日本 XAFS 研究会 E-mail: t-yamamo@ias.tokushima-u.ac.jp	23・3
8/9-10	日本真空協会関西支部セミナー 第2回「役に立つ真空技術入門講座」	大阪市立工業研究所	日本真空協会関西支部 E-mail: vsj-kansai@steem.eei.eng.osaka-u.ac.jp	23・3
9/4-6	第13回 XAFS 討論会	立命館大学びわこ・く さつキャンパス ロー ム記念館	日本 XAFS 研究会 E-mail: jxafs13@st.ritsumei.ac.jp	23・3
9/4-7	International conference on Many Particle Spectroscopy of atoms, molecules, clusters and surfaces (MPS2010)	東北大学片平さくら ホール	東北大学多元物質科学研究所・ MPS2010実行委員会 E-mail: mps2010_office@res.tagen.tohoku.ac.jp	23・3
9/7-10	第50回真空夏季大学	第50回真空夏季大学	日本真空協会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org	23・3
10/8	日本磁気学会第174回研究会/第38回化合物 新磁性専門研究会共催「スピン・クロス オーバーの物理」	中央大学駿河台記念館 320号室	日本磁気学会 E-mail: msj@bj.wakwak.com	23・4
10/20-22	第51回高压討論会	仙台市戦災復興記念館	日本高压力学会 E-mail: words@highpressure.jp	23・3
10/22-23	第46回 X 線分析討論会	広島県情報プラザ多目 的ホール	(社)日本分析化学会 X 線分析研究懇談会 E-mail: hayakawa@hiroshima-u.ac.jp	23・3
10/25-29	The 6th International Workshop on Nano- Scale Spectroscopy and Nanotechnology 《NSS6》 「第6回ナノスケール分光及びナノテクノ ロジー国際会議」	神戸大学 六甲ホール	財団法人高輝度光科学研究センター (JASRI), 独立行政法人理化学研究 所, 神戸大学 E-mail: nss6@spring8.or.jp	23・3
11/4-6	真空・表面科学合同講演会 第30回表面科学学術講演会と第51回真空に 関する連合講演会	大阪大学吹田キャンパ ス コンベンションセ ンター・体育館	日本真空協会事務局 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org (社)日本表面科学会事務局 E-mail: goudou10@sssj.org	23・4
2011年 5/22-27	第8回新材料とデバイスに対する原子レベ ル・キャラクタリゼーションに関する国際 会議 (ALC '11)	韓国・ソウル, Olympic Parktel	(社)日本学術振興会マイクロビームアナ リシス第141委員会 E-mail: alc11@jps141.surf.nuqe.nagoya-u.ac.jp	23・4

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■日本磁気学会第174回研究会/第38回化合物新磁性専門 研究会共催「スピン・クロスオーバーの物理」

遷移金属を含む酸化物や錯体は、セラミックス、機能性高分子、生体物質（ヘムタンパク質など）として、極めて重要な役割を果たしています。これらの物質の特性を決定づけるのは、配位子に囲まれた遷移金属中の d 電子の状態ですが、その電子状態の違いに連動して、d 電子は様々なスピン配置をとることになります。すなわち、電子状態とスピン状態は強く結合しているわけです。また、外部刺激によって電子状態とともにスピン配置を変

化させることができれば、スピン配置変化に伴う磁性の変化とともに多彩な物性の変化を実現することができます。実際、多くの物質で、温度・磁場・光照射などの外部刺激による「スピン・クロスオーバー現象」が観測され、さらに磁気的性質の変化に連動して、電気的・光学的・熱的物性などに多彩な変化が見られています。

本研究会では、遷移金属酸化物・錯体における「スピン・クロスオーバー現象」にスポットを当て、第一線で活躍されている講師の方々から様々な研究成果を紹介していただきます。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

主催：日本磁気学会
協賛：日本放射光学会，他
日時：2010年10月8日(金)
場所：中央大学駿河台記念館320号室
東京都千代田区神田駿河台3-11-5 (JR・御茶ノ水，東
京メトロ・新御茶ノ水駅より徒歩3分)
参加費：無料 (年間購読者，学生)
2,000円 (会員，協賛会員)
4,000円 (非会員)
資料代：1,000円 (会員，協賛会員，非会員，学生)
問合せ先：日本磁気学会事務局
E-mail：msj@bj.wakwak.com
Tel：03-5281-0106

■真空・表面科学合同講演会

第30回表面科学学術講演会と第51回真空に関する連合講演会

第30回表面科学学術講演会と第51回真空に関する連合講演会との合同講演会を下記の通り開催します。合同セッション，真空協会および表面科学会の分野別セッション，表面科学会の部会セッションを予定しています。多数の方々のご投稿，ご参加をお願い申し上げます。併設しております企業展示会にも，是非お立ち寄り下さい。

主催：日本真空協会，(株)日本表面科学会
協賛：日本放射光学会，他
期日：2010年11月4日(木)～6日(土)
会場：大阪大学吹田キャンパス コンベンションセンター・体育館 (大阪府吹田市山田丘1-1)
参加費：
日本真空協会個人会員および法人会員に属する個人：5,000円
(株)日本表面科学会正会員および維持会員・賛助会員の所属会社員：5,000円
日本真空協会学生会員および日本表面科学会学生会員：3,000円
協賛学会員：日本真空協会会員および日本表面科学会会員に準拠
非会員：7,000円 学生非会員：5,000円
問合せ先：
日本真空協会事務局 ofc-vsjs@vacuum-jp.org

(株)日本表面科学会事務局 goudou10@sss.jp.org

■第8回新材料とデバイスに対する原子レベル・キャラクタリゼーションに関する国際会議 (ALC '11)

主催：(株)日本学術振興会マイクロビームアナリシス第141委員会
日程：2011年5月22日(日)～27日(金)
場所：韓国・ソウル，Olympic Parktel
ホームページ：<http://alc.surf.nuqe.nagoya-u.ac.jp/alc11/>
討論主題：

新材料 (バイオ・無機・有機材料を含む) および新デバイスの原子スケールキャラクタリゼーション・イメージング・分析法・分析装置に関する研究発表。表面・界面の新分析装置や新しい応用の発表。具体的には，電子・イオン・赤外・紫外・X線等を用いたキャラクタリゼーション (AES/XPS/XPED/EPMA/ISS/MEIS/RBS/SIMS/IR/)，イメージング技術 (TEM/STEM/AEM/SEM/SAM/TOF-SIMS/SPM/REM/LEEM/PEEM/FIM)，ナノ技術 (ナノワイヤ/ナノチューブ/ナノ粒子/ナノカーボン，生態・医療，固固・固液界面)，惑星・環境物質キャラクタリゼーション，スピン偏極電子線，グラフィックと関連物質などに関する研究発表。

発表申込およびアブストラクト (150 words 以内) 締切：

2010年11月30日(火)

プロシーディングス原稿締切：2011年3月30日(水)

プロシーディングス：

全発表のプロシーディングスは会議当日に冊子で配布。その中から限られた論文を原稿再提出審査の上 Surface and Interface Analysis (Wiley) および e-Journal of Surface Science and Nanotechnology (日本表面科学会) 特集号に掲載予定。

参加登録費：

2011年2月22日(火)まで；一般 \$500/学生 \$250

2011年2月23日(水)以降；一般 \$600/学生 \$300

備考：

参加登録費，ホテル予約，スチューデントアワード，参加旅費補助等に関する詳細はホームページ参照。

問合せ先：

ALC '11実行委員会事務局 鈴木基史 (京大)，
alc11@jsps141.surf.nuqe.nagoya-u.ac.jp